

第144期 営業のご報告

# MiniDisclosure

平成18年4月1日 ▶ 平成19年3月31日



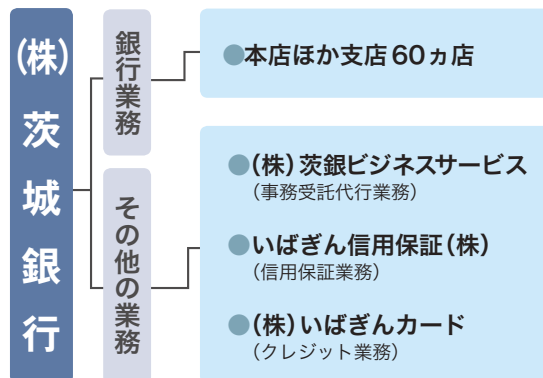
## ■目次

ごあいさつ	1
営業の概況	1
営業成績の推移	3
経営の基本方針	4
いばぎんバリューアッププラン	4
平成18年度決算概況	5
第144期財務諸表	8
連結財務諸表	10
「地域密着型金融推進計画」の進捗状況 について～最終取りまとめ～	12
地域貢献活動	14
いばぎんトピックス	16
役員	18
資本金・株式の状況/株式のご案内	19
店舗網のご案内	20
店舗外キャッシュコーナーのご案内	21

## ■当行の概要 (平成19年3月31日現在)

名 称	株式会社 茨城銀行 THE IBARAKI BANK,LTD
創 業 設 立	大正10年6月9日 大正10年11月1日
本店所在地	〒310-0021 茨城県水戸市南町1-3-1 TEL. 029(231)3171(代)
資 本 金	155億円
総資産残高	7,551億円
預金残高	7,140億円
店 舗 数	61店舗
ATM台数	193台(うちI-NET61台)
従業員数	875人 <small>(嘱託、臨時雇用、出向者を除いております。)</small>
U R L	<a href="http://www.ibagin.co.jp/">http://www.ibagin.co.jp/</a>

## ■いばぎんグループの概要



※平成19年5月21日より、湊支店がひたちなか支店に統合され、平成19年6月28日現在で、店舗数60店舗(本店ほか支店59カ店)となっております。

## ごあいさつ

みなさまには、ますますご清栄のこととおよろこび申しあげます。平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申しあげます。

ここに当行144期（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）の営業の概況と決算につきまして、ご報告申しあげます。

平成19年6月



取締役頭取 **川 嶋 烈**

### □ 営業の概況

#### （銀行の主要な事業内容）

当行は、預金業務及び貸出業務を中心に、内国為替業務、外国為替業務、商品有価証券売買業務、有価証券投資業務、公共債・投資信託・保険の販売業務等を行い、地域社会の発展に寄与すべく積極的に金融サービスを提供しております。

#### （金融・経済環境）

平成18年度の国内経済を概観しますと、企業収益の改善が見られ、設備投資は増加し、生産は緩やかに増加しました。また、個人消費に弱さが見られるものの、雇用情勢は改善傾向にあり、景気は緩やかな回復を続けました。

一方、当行グループの主たる営業区域である茨城県の経済動向につきましては、企業の生産活動は概ね堅調に推移し、雇用面でも改善傾向にあります。また、住宅建設は前年を下回りましたが、個人消費は総じて持ち直しの動きが続いており、全体として景気の改善基調が継続しております。しかし、中小企業の倒産が件数、金額ともに前年度実績を上回るなど、依然として県内中小企業の経営環境は厳しい状況にあります。

金融面においては、日本銀行が年度内に2回の利上げを実施し、無担保コール翌日物金利の誘導目標は0.5%に上昇しておりますが、長期金利は、10年物新発国債の利回りが1.6～1.7%程度で推移しております。また、日経平均株価は平成18年4月に17,000円台でスタートしたものの、利上げの

懸念感から6月から7月にかけては14,000円台にまで下落しました。しかし、平成19年3月末は17,000円台を維持しております。

#### （当行の動き）

当行は、地域密着型金融推進計画に則り、平成18年6月に取引先企業に対する営業支援の強化を図るため、経営支援部内に「事業支援グループ」を新設しました。事業支援グループにおいて、平成18年10月よりお取引先向けの会員制総合経営支援サービスとして「いばぎんふれい倶楽部」を発足しました。平成19年2月には取引先企業のビジネスチャンス拡大のため「第1回いばぎんビジネス交流会」を開催し、70社を超える取引先企業の参加をいただきました。

また、お客さまの利便性向上のため、平成18年7月から8月にかけて、ローンセンターを茨城県内4ヶ所（佐貫、神栖、東海、つくば）に新設し、計7ヶ所といたしました。ローンセンター水戸は、平日以外に日曜日も営業、他のローンセンターは平日以外に土曜日も営業し、住宅ローンの相談のほか資産運用や年金等の相談業務を実施しております。

営業面におきましては、平成18年10月より、金融商品の多様化に対応するため、専門性を高めた新営業体制を導入しました。法人営業担当、融資渉外担当、個人営業担当を設置し、お客さまからの様々な相談業務に対応できる渉外体制といたしました。

業務面におきましては、様々な資金ニーズにお応えするため平成18年4月から全期間固定金利住宅ローンの取扱いを開始し165億61百万円を販売いたしました。預金のキャンペーンとしましては、平成18年12月から平成19年2月まで、預入日前日の最高気温で上乘せ金利が決まる「ニッコリ定期プレミアム」を実施し、251億18百万円の定期預金を獲得しました。また、平成19年2月からは、「団塊世代」のお客さまの資産運用ニーズに応じて、退職金専用定期預金「ロイヤルシート」を発売、平成19年3月には「資産運用セミナー」を開催いたしました。

### (平成18年度の概況)

預金につきましては、当行の主要な取引先である中小企業の景況感を反映して、法人預金は116億71百万円の減少となりましたが、「ニッコリ定期プレミアム」が好調に推移したこともあり個人預金が123億17百万円増加となり、預金全体では前年度比6億45百万円増加の7,140億66百万円となりました。

また、順調な株価水準を反映して、投資信託等の販売も好調に推移し、投資信託等の預り資産残高は前年度比147億3百万円増加の604億51百万円となりました。

貸出金につきましては、当行の主要な取引先である中小企業の資金需要の弱さもあり一般企業向け貸出金は低調に推移しました。しかし、住宅ローンが好調に推移したことから、個人向けローンは前年度比78億65百万円増加し、シンジケートローンや大企業向け貸出についても好調に推移したため、貸出金全体では前年度比135億78百万円増加の5,420億45百万円となりました。

### (平成18年度の損益状況)

損益につきましては、預金金利上昇により、資金調達費用が前年度比4億99百万円増加しましたが、収益の確保に向け、貸出金の増加や有価証券の運用強化に努めるとともに、投資信託の販売を推進し手数料収入の増強にも力を入れました。また、費用面におきましても、物件費をはじめとした経費の削減に全行をあげて取り組みました。この結果、銀行本来の収益力を表すコア業務純益（業務純益から国債等関係損益と一般貸倒引当金

繰入額を控除したものは前年度比88百万円の減少に止まり、58億44百万円を確保することができました。

一方、不良債権処理費用等の与信関連費用は、不良債権比率の低下を図るため、106億円の最終処理を実施したことから、前年度比6億66百万円増加の25億83百万円になりました。その結果、経常利益は前年度比2億95百万円減少の30億44百万円となりました。当期純利益については、資産内容の強化の観点から繰延税金資産を7億29百万円取り崩し、過去最高益を計上した昨年度からは3億53百万円減少となりましたが、2期連続の利益計上となる23億71百万円を確保することができました。

なお、不良債権の最終処理を行うとともに、取引先の経営改善支援にも積極的に取り組んだ結果、金融再生法開示債権における不良債権比率は、前年度末の11.35%から2.92ポイント低下の8.43%となり、資産内容の健全化が進みました。また、銀行の健全性を示す自己資本比率は、前年度比1.30ポイント上昇の7.42%となりました。

### (当行が対処すべき課題)

今後の景気は、引き続き緩やかな上昇を続けていくことが予想され、茨城県内の地価もTX沿線では上昇に転じております。しかしながら、当行の主要な取引先である茨城県内の中小企業については、大企業に比べて景気回復の実感に乏しく、資金需要の大幅な回復には至らない状況であります。

このような状況のもと、当行は、平成18年4月からスタートした「いばぎんバリューアッププラン（新長期経営計画）」に掲げた計数目標を達成すべく、営業体制の改革等、様々な施策に取り組んでまいりました。今後も、「いばぎんバリューアッププラン」に掲げた計数目標を着実に達成することにより、企業価値向上に努め、将来の株式上場実現に向け取り組んでまいります。そして、経営の基本方針であります「地域とお客さまに愛され信頼される銀行へ」をめざし、株主の皆さまのご期待に応えられるよう役職員一致団結し努力してまいります。

何とぞ今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## □ 営業成績の推移

(単位：百万円)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
<b>預 金</b>	<b>718,585</b>	<b>714,518</b>	<b>713,420</b>	<b>714,066</b>
定期性預金	494,540	487,964	477,702	487,536
その他	224,045	226,554	235,717	226,530
<b>貸 出 金</b>	<b>535,689</b>	<b>527,529</b>	<b>528,467</b>	<b>542,045</b>
個人向け	102,775	102,018	98,939	105,649
中小企業向け	351,698	349,118	338,923	326,825
その他	81,215	76,392	90,604	109,570
<b>商品有価証券</b>	<b>290</b>	<b>256</b>	<b>315</b>	<b>245</b>
<b>有 価 証 券</b>	<b>97,872</b>	<b>121,020</b>	<b>130,360</b>	<b>126,033</b>
国 債	33,697	44,400	42,698	43,542
その他	64,175	76,620	87,661	82,490
<b>総 資 産</b>	<b>753,387</b>	<b>746,387</b>	<b>746,985</b>	<b>755,133</b>
<b>内 国 為 替 取 扱 高</b>	<b>3,940,161</b>	<b>3,929,311</b>	<b>3,881,729</b>	<b>4,181,306</b>
<b>外 国 為 替 取 扱 高</b>	千ドル 39,762	千ドル 49,356	千ドル 39,006	千ドル 38,274
<b>経 常 利 益 又 は 経 常 損 失</b>	△4,516	△1,577	3,339	3,044
<b>当 期 純 利 益 又 は 当 期 純 損 失</b>	△5,296	△2,515	2,724	2,371
<b>1 株 当 たり 当 期 純 利 益 又 は 当 期 純 損 失</b>	△37円38銭	△17円75銭	19円22銭	16円73銭

注 1. 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

2. 1株当たり当期純利益又は当期純損失は、当期純利益又は当期純損失を期中の平均発行済株式数で除して算出しております。

## □ 経営の基本方針

### ● 経営目標

#### 「地域とお客さまに愛され信頼される銀行へ」

そのための行動指針

- 1 地域とお客さまの要望には、誠意と積極性をもって、正確、迅速に対応する。
- 2 「ホウ・レン・ソウ」を実践し、明るく活気のある職場を築く。
- 3 地域の発展に向けて、各人の能力アップを図る。

### 茨城銀行のシンボルマーク



このマークは茨城銀行の頭文字「i」と人の姿をモチーフにしています。地域社会に対し、活発にコミュニケーションを行うことによって地縁を深め、またお客さまと行員のふれあいを大切にするることによって人縁を強めていくといった茨城銀行の積極的な地域密着の姿勢、そして未来に躍進していく姿を実現しています。

## □ いばぎんバリューアッププラン（新長期経営計画ステージⅡ）の概要

### 主要施策

営業体制の改革	店舗体制	●市場成長力・規模・特性に応じた店舗戦略とし、効果的・効率的に経営資源配分を実施します
	渉外体制	●金融商品の多様化に対応するため、専門性を高めた渉外体制とします
営業店支援機能強化のための本部体制の改革	法人部門	●事業支援グループを新設しビジネスマッチングを支援します ●成長地域における法人開拓を強化します ●強化業種の専担者を配置します
	個人部門	●ローンセンターを増設、機能拡大します ●投信販売のアドバイザーを配置します ●営業人員を増強します

### 計数目標および実績

項目	19年3月期 計画	19年3月期 実績	21年3月期 計画
コア業務純益	59億円	58億円	65億円
自己資本比率	6.2%	7.42%	8%台
不良債権比率	9.0%	8.43%	6%台
新規企業先獲得	年間2,000社	1,092社	年間2,000社
住宅ローン実行	年間150億円	195億円	年間150億円
預り資産残高	600億円	604億円	750億円

バリューアッププラン期間内の株式上場を目指します

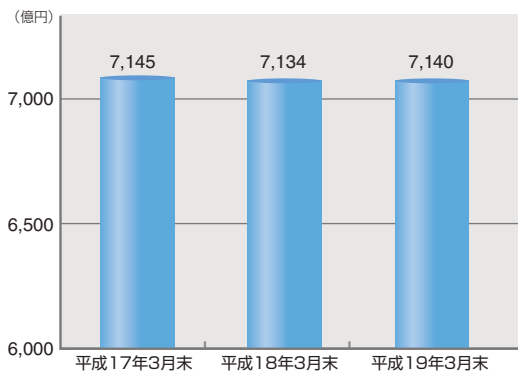
## □ 資産・負債の状況

### ■ 預金

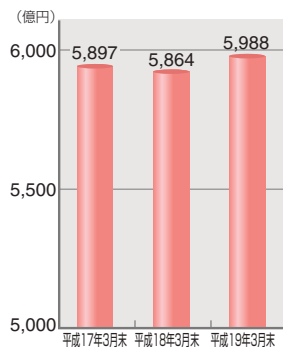
法人預金は減少しましたが、「ニッコリ定期プレミアム」が好調に推移したため、個人預金が123億17百万円増加となり、預金全体では前年度比6億45百万円増加の7,140億66百万円となりました。預金は増加に転じております。

投資信託等の預り資産残高も、順調な株価水準を反映して、前年度比147億3百万円増加の604億51百万円となりました。

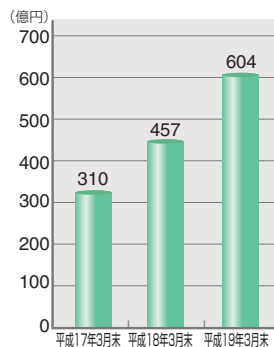
### □ 預金残高の推移



### □ 個人預金の推移



### □ 預り資産残高の推移

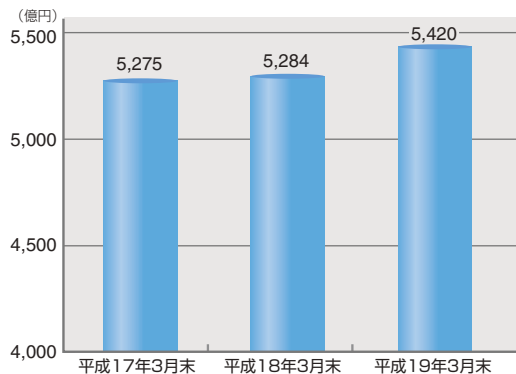


### ■ 貸出金

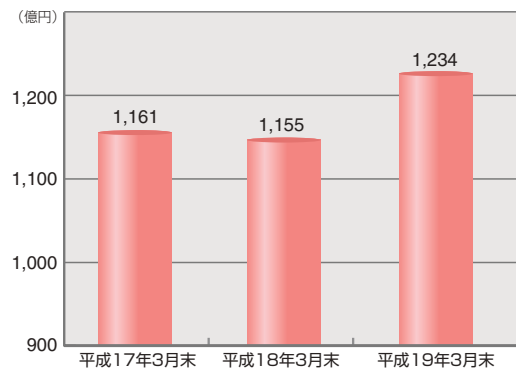
当行の主たる取引先である中小企業の資金需要の弱さもあり一般企業向け貸出は低調に推移しました。しかし、ローンセンターの増設効果もあり住宅ローンが好調に推移し、個人向けローンは前年度比78億65百万円増加し、貸出金全体では前年度比135億78百万円増加の5,420億45百万円となりました。

貸出金についても順調に増加しております。

### □ 貸出金残高の推移



### □ 個人向けローン残高推移



## □ 損益の状況

### ■ 単体

預金金利上昇により、資金調達費用が前年度比4億99百万円増加しましたが、コア業務純益は58億42百万円確保することができました。

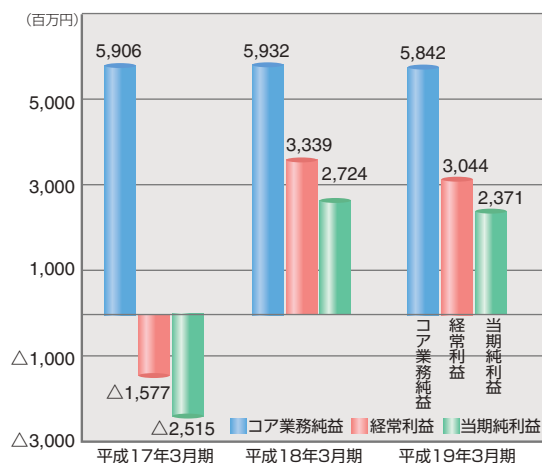
一方、不良債権処理費用等の与信関連費用が、前年度比6億66百万円増加の25億83百万円となりましたが、経常利益は30億44百万円、当期純利益は23億71百万円確保することができました。

平成18年3月期から2期連続、安定した利益を計上することができました。

### ■ 連結

銀行単体の決算が好調だったことから、連結ベースでも22億46百万円の当期純利益を計上することができました。

## □ 損益の推移 (単体)



### コア業務純益とは？

コア業務純益とは、業務純益から一般貸倒引当金への繰入額と国債等債券の売却損益等を除いた利益です。この利益により銀行本来の収益力がわかります。

## □ 自己資本比率 (国内基準) の状況

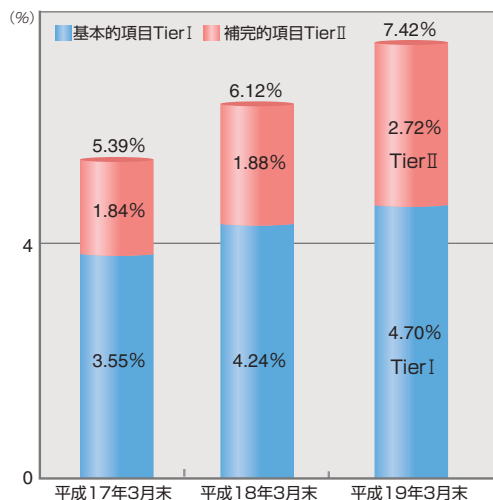
最終利益を23億71百万円計上し、補完的項目に算入される劣後債等の調達を43億円実施したことから、前年度比1.30ポイント上昇の7.42%となりました。

連結ベースにおいても1.26ポイント上昇の7.48%となりました。

(単位：百万円)

	単体	連結
自己資本額 ①	29,435	29,707
基本的項目	18,643	18,913
リスクアセット ②	396,444	396,846
自己資本比率①÷②	7.42%	7.48%

## □ 自己資本比率の推移 (単体)





## □不良債権の状況

当期は、取引先の経営改善支援に積極的に取組み、不良債権の最終処理についても、バルクセルのほか、企業再生ファンド活用によるオフバランス化に取組んだ結果、金融再生法に基づく開示債権額は、前年度末比144億円減少しました。

金融再生法に基づく不良債権比率についても2.92ポイント減少の8.43%となり、より一層資産の健全化が進んでおります。

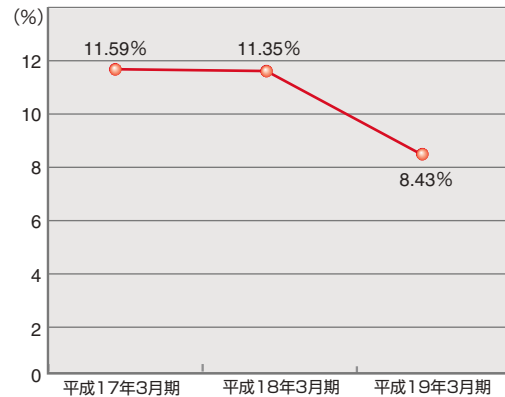
これらの不良債権に対する貸倒引当金・不動産担保・優良保証等による保全率は87.31%となりました。

### □金融再生法に基づく開示債権額

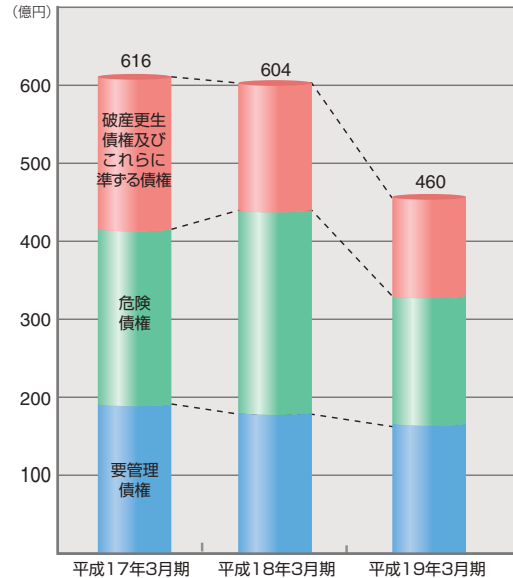
(単位：億円)

	平成17年3月期	平成18年3月期	平成19年3月期
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	203	176	159
危険債権	230	260	169
要管理債権	182	167	130
計	616	604	460
不良債権比率	11.59%	11.35%	8.43%
貸倒引当金及び担保等による保全額	551	529	401
保全率	89.44%	87.63%	87.31%

### □不良債権比率の推移



### □不良債権の推移



□ 第144期末 貸借対照表

(平成19年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	49,889	預 金	714,066
現金	21,213	当 座 預 金	11,861
預 け 金	28,675	普 通 預 金	197,332
コ ー ル ロ ー	23,000	貯 蓄 預 金	10,104
商 品 有 価 証 券	245	通 知 預 金	1,113
商 品 国 債	232	定 期 預 金	473,999
商 品 地 方 債	12	定 期 積 金	13,457
金 銭 の 信 託	5,321	そ の 他 の 預 金	6,196
有 価 証 券	126,033	借 用 金	4,240
国 債	43,542	借 入 金	4,240
地 方 債	3,315	外 国 為 替	17
社 債	46,799	売 渡 外 国 為 替	17
株 式	10,303	未 払 外 国 為 替	0
そ の 他 の 証 券	22,072	社 債	5,150
貸 出 金	542,045	そ の 他 負 債	3,276
割 引 手 形	8,576	未 払 法 人 税 等	22
手 形 貸 付	49,754	未 払 費 用	957
証 書 貸 付	440,538	前 受 収 益	539
当 座 貸 越	43,176	給 付 補 て ん 備 金	6
外 国 為 替	187	そ の 他 の 負 債	1,749
外 国 他 店 預 け	185	賞 与 引 当 金	307
買 入 外 国 為 替	0	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	160
取 立 外 国 為 替	1	退 職 給 付 引 当 金	2,130
そ の 他 資 産	4,314	子 会 社 支 援 損 失 引 当 金	385
前 払 費 用	753	再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債	1,404
未 収 収 益	1,597	支 払 承 諾	2,519
金 融 派 生 商 品	19	負 債 の 部 合 計	733,657
そ の 他 の 資 産	1,944	(純資産の部)	
有 形 固 定 資 産	10,521	資 本 金	15,541
建 物	2,664	利 益 剰 余 金	3,685
土 地	7,067	そ の 他 利 益 剰 余 金	3,685
建 設 仮 勘 定	145	繰 越 利 益 剰 余 金	3,685
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産	643	自 己 株 式	△ 7
無 形 固 定 資 産	775	株 主 資 本 合 計	19,219
ソ フ ト ウ ェ ア	576	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	1,928
そ の 他 の 無 形 固 定 資 産	198	土 地 再 評 価 差 額 金	329
繰 延 税 金 資 産	5,520	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	2,257
支 払 承 諾 見 返 金	2,519	純 資 産 の 部 合 計	21,476
貸 倒 引 当 金	△15,240	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	755,133
資 産 の 部 合 計	755,133		

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 第144期 損益計算書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額	金 額
経常収益	17,571	21,376
資金運用収益	14,701	
貸出金利	1,913	
有価証券利息配当	16	
コールローン利息	938	
預け金利息	0	
その他の受入利息	0	
役員取引等収益	2,789	
受入為替手数料	722	
その他の役員収益	2,066	
その他業務収益	271	
外国為替売買益	14	
商品有価証券売却益	2	
国債等債券売却益	234	
金融派生商品収益	19	
その他経常収益	744	
株式等売却益	574	
その他の経常収益	170	
経常費用	1,018	18,332
資金調達費用	803	
預金利息	0	
コールマネー利息	0	
借入金利息	172	
社債利息	42	
その他の支払利息	0	
役員取引等費用	1,942	
支払為替手数料	130	
その他の役員費用	1,812	
その他業務費用	252	
国債等債券売却損	252	

(単位：百万円)

科 目	金 額	金 額
営業経常費用	11,988	
その他の経常費用	3,130	
貸倒引当金繰入	1,233	
貸出金償却	691	
株式等償却	96	
株式等償却	72	
その他の経常費用	1,036	
経常利益		3,044
特別利益	260	260
償却債権取立		
固定資産処分	13	175
減損	20	
その他の特別損失	141	
税引前当期純利益		3,129
法人税、住民税及び事業税		30
法人税等調整額		727
当期純利益		2,371

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 第144期 株主資本等変動計算書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
		その他利益剰余金	利益剰余金 合計						
前事業年度末残高	15,541	1,312	1,312	△6	16,847	861	331	1,192	18,040
当事業年度変動額									
当期純利益		2,371	2,371		2,371				2,371
自己株式の取得				△1	△1				△1
自己株式の処分		△0	△0	0	0				0
土地再評価差額金取崩額		1	1		1				1
株主資本以外の項目の当事業年度変動額(純額)						1,066	△1	1,064	1,064
当事業年度変動額合計	-	2,373	2,373	△0	2,372	1,066	△1	1,064	3,436
当事業年度末残高	15,541	3,685	3,685	△7	19,219	1,928	329	2,257	21,476

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## □ 連結貸借対照表

(平成19年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	49,889	預 金	712,239
コールローン及び買入手形	23,000	借 用 金	4,240
商品有価証券	245	外 国 為 替	17
金 銭 の 信 託	5,321	社 債	5,150
有 価 証 券	126,022	そ の 他 負 債	5,013
貸 出 金	543,208	賞 与 引 当 金	323
外 国 為 替	187	役員退職慰労引当金	160
そ の 他 資 産	4,704	退 職 給 付 引 当 金	2,135
有 形 固 定 資 産	10,524	利 息 返 還 損 失 引 当 金	1
建 物	2,664	再評価に係る繰延税金負債	1,404
土 地	7,067	支 払 承 諾	2,519
建設仮勘定	145	<b>負債の部合計</b>	<b>733,205</b>
その他の有形固定資産	646	(純資産の部)	
無 形 固 定 資 産	776	資 本 金	15,541
ソフトウェア	576	利 益 剰 余 金	3,874
その他の無形固定資産	199	自 己 株 式	△7
繰 延 税 金 資 産	5,566	株 主 資 本 合 計	19,408
支 払 承 諾 見 返	2,519	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	1,928
貸 倒 引 当 金	△17,015	土 地 再 評 価 差 額 金	329
		評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	2,257
		少 数 株 主 持 分	81
		<b>純資産の部合計</b>	<b>21,746</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>754,951</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>754,951</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## □ 連結損益計算書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>経 常 収 益</b>			<b>21,810</b>
資 金 運 用 収 益	17,685		
貸 出 金 利 息	14,816		
有 価 証 券 利 息 配 当 金	1,913		
コールローン利息及び買入手形利息	16		
預 け 金 利 息	938		
そ の 他 の 受 入 利 息	0		
役 務 取 引 等 収 益	3,080		
そ の 他 業 務 収 益	271		
そ の 他 経 常 収 益	771		
<b>経 常 費 用</b>			<b>18,888</b>
資 金 調 達 費 用	1,017		
預 金 利 息	802		
コールマネー利息及び売渡手形利息	0		
借 用 金 利 息	172		
社 債 利 息	42		
そ の 他 の 支 払 利 息	1		
役 務 取 引 等 費 用	1,925		
そ の 他 業 務 費 用	252		
営 業 経 費	12,163		
そ の 他 経 常 費 用	3,528		
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	1,626		
そ の 他 の 経 常 費 用	1,902		
<b>経 常 利 益</b>			<b>2,921</b>
<b>特 別 利 益</b>			<b>263</b>
償 却 債 権 取 立 益	263		
<b>特 別 損 失</b>			<b>175</b>
固 定 資 産 処 分 損	13		
減 損 損 失	20		
そ の 他 の 特 別 損 失	141		
<b>税金等調整前当期純利益</b>			<b>3,010</b>
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	35		
法 人 税 等 調 整 額	726		
少 数 株 主 利 益	1		
<b>当 期 純 利 益</b>			<b>2,246</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## □ 連結株主資本等変動計算書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本				評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
前連結会計年度末残高	15,541	1,625	△6	17,160	861	331	1,192	79	18,432
当連結会計年度変動額									
当期純利益		2,246		2,246					2,246
自己株式の取得			△1	△1					△1
自己株式の処分		△0	0	0					0
土地再評価差額金取崩額		1		1					1
株主資本以外の項目の当連結会計年度変動額(純額)					1,066	△1	1,064	1	1,066
当連結会計年度変動額合計	—	2,248	△0	2,247	1,066	△1	1,064	1	3,313
当連結会計年度末残高	15,541	3,874	△7	19,408	1,928	329	2,257	81	21,746

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 「地域密着型金融推進計画」の進捗状況について～最終取りまとめ～

(平成 17 年 4 月～平成 19 年 3 月末)

## 1. 全体的な進捗状況およびそれに対する評価

当行は、地域社会での金融の円滑化に対する使命を果たしつつ、安定的収益基盤を確立し、地域の発展とともに成長していくことをめざし、平成 17 年 8 月に定めた「地域密着型金融推進計画」に基づき、特に中小企業金融の円滑化に向けた取組みのほか、経営力の強化に向け、収益力の向上と法令等遵守態勢の強化に重点をおいて取組みました。

具体的には、お取引先に対する支援の一環として、会員制総合経営支援サービスである「いばぎん ふれい倶楽部」の発足や「いばぎん ビジネス交流会」の開催によりビジネスマッチングサービスの強化に努めました。また、事業再生ファンドの組成など、支援先に対する経営改善・再生支援に取組んだほか、無担保融資商品を中心とした地元中小企業向け融資を拡大しました。

引続き、当行の経営の基本方針である「地域とお客さまに愛され信頼される銀行へ」に基づいて、お取引先への総合的な支援に積極的に取組んでまいります。

## 2. 個別の取組みの進捗状況

### (1) 事業再生・中小企業金融の円滑化

- 相談機能のレベルアップやビジネスマッチング支援強化のため、会員制総合経営支援サービスである「いばぎん ふれい倶楽部」を発足させました。
- お取引先のプレゼンテーションと商談会からなる「いばぎん ビジネス交流会」を開催しました。65 企業、107 人が参加し、商談件数が 115 件に上るなど、好評を博しました。
- 平成 17 年 4 月から平成 19 年 3 月末までに、ビジネス情報新規登録数は 211 件、ビジネスマッチング成約数は 106 件の実績がありました。
- 経営支援部経営支援グループの新設や融資渉外担当者 1 人につき支援先 1 先を担当する「融資渉外一人一先担当制」の導入により、経営支援先に対する経営改善・再生支援への体制を強化しました。また、経営支援部の増員やおぞら銀行とのアドバイザリー契約の締結、人材招聘などを実施し、事業再生ファンドを組成しました。
- 平成 17 年 4 月から平成 19 年 3 月末までに、経営改善支援先として 361 先の支援先を選定し、49 先の債務者区分の良化が図られました。
- 売掛債権担保融資について積極的に取組み、平成 19 年 3 月末で 26 億円の残高となりました。
- 行内格付を活用した無担保融資商品「スーパー i 80」、「パワフルサポート」と、茨城県信用保証協会との提携商品「元気宣言 100」、「イメージ」、「当貸プライム」および栃木県信用保証協会との提携商品「無担保当貸 5000」を推進した結果、これら商品の融資残高は平成 19 年 3 月末で 249 億円となりました。
- 企業の経営改善や再生支援に関する能力をもった人材の育成をめざし、「ランクアップ研修会」(累計参加者 222 名)の実施や、第二地方銀行協会主催の「目利き能力強化研修」、「経営支援能力強化研修」、「再生支援能力強化研修」に本部の担当者を累計 9 名派遣しました。

## (2) 経営力の強化

- 総合企画部リスク管理グループに担当要員を2名配置するとともに、新BIS規制対応プロジェクトチームの設置、リスク量計測マニュアルの作成など、リスク管理態勢を強化しました。
- 各種基準（資産自己査定基準、償却・引当基準）、各種マニュアル（自己査定マニュアル、償却・引当マニュアル）を適宜改正し、適切な自己査定および償却・引当の確保に努めました。
- 信用リスクに見合う適正な理論金利の構築をめざして準備を進めております。
- 法令等遵守（コンプライアンス）については、継続的に各種研修会、臨店指導、事故・苦情事例の還元を通して徹底を図っております。
- お客さまの個人情報を適切に取扱うために、各種研修会を実施し、「個人情報管理規程」および「個人情報取扱要領」の周知徹底を図りました。

## (3) 地域の利用者の利便性向上

- 地域のお客さまに当行の経営実態をよく理解していただくため、「お客さま説明会」を開催しました。
- 地域貢献活動の内容をディスクロージャー誌およびミニディスクロージャー誌に継続して掲載しております。
- お客さまの利便性の向上を目的として実施したアンケート調査の結果に基づき、ローンセンターを4か所新設し、計7か所としました。
- ローンセンターでは土曜日（一部のローンセンターは日曜日）に営業し、平日に来店できないお客さまに対し年金、資産運用、住宅ローン等の相談を受付けるなど、地域の利用者の利便性向上に向け、取組みました。
- 平成18年度下期から、法人個人それぞれお客さまのニーズに対応した新しい営業体制を導入しました。

## 3. 目標とする経営指標の達成状況（平成17年4月～平成19年3月末）

項目	経営指標等	目標計数 (平成19年3月末)	実績 (平成19年3月末)	達成率
取引先企業に対する経営相談・支援機能	ビジネス情報新規登録数	400件	211件	53%
	ビジネスマッチング成約数	45件	106件	236%
要注意先債権等の健全債権化等に向けた取組み	経営改善支援先	300先	361先	120%
	債務者区分良化先 (ランクアップ先数)	55先	49先	89%

## □ 地域貢献活動

### 地域貢献の基本方針

茨城銀行は、「地域とお客さまに愛され信頼される銀行へ」を経営目標に掲げ、銀行業を通じて地域の発展に寄与するとともに、地域社会の良き一員として、積極的にその責任を果たしてまいります。

### ■ 本業での地域貢献

◎銀行業の特性を活かし、次のような地域貢献を行っています。

#### 地域への資金供給

地域への円滑な資金供給により、地域経済の発展に寄与します。

#### 地域振興への貢献

地域の企業・産業の育成に努めます。

#### 地域サービスの充実

地域のニーズにあった価値あるサービスの提供に努めます。

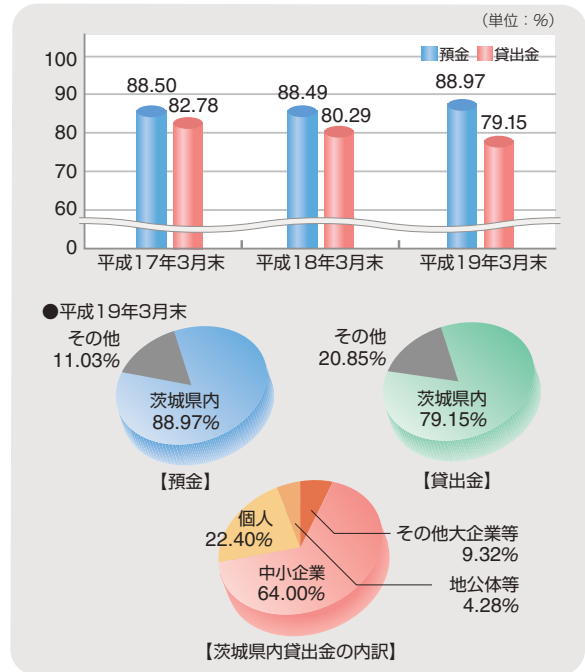
### ■ 本業以外での地域貢献（社会貢献）

地域社会の一員として、社会的役割と責任を自覚し、環境、教育、芸術・文化、社会福祉、スポーツ等の各分野において積極的な社会貢献を行っています。

また、茨城銀行の役職員一人ひとりが積極的に社会貢献活動に参加できるようにサポートしてまいります。

### ■ 預金・貸出金に占める茨城県内の割合

平成19年3月末の預金・貸出金に占める茨城県内の割合は、預金が88.97%、貸出金が79.15%となりました。平成18年3月末に比べ、預金は0.48ポイント増加、貸出金は1.14ポイント低下しています。



### ■ 地域振興への貢献

当行は、地域の企業育成のために茨城県及び中小企業基盤整備機構が組成した「いばらきベンチャー企業育成ファンド」や、地域の中小企業を対象とした企業再生ファンドの「茨城いきいきファンド」に出資することにより、地域経済の活性化や地域貢献に貢献しております。



## ■各種相談会の実施

年金に関する様々なご質問に、社会保険労務士がわかりやすくお答えする「年金相談会」や、休日にゆっくり相談できる「休日お客さま相談会」を開催しております。平成18年度は、以下のような開催状況でした。

相談会	開催回数	相談人数
年金相談会	66回	602名
休日お客さま相談会	124回	718名

## ■「いばぎん野球教室」開催

平成19年3月24日(土)いばぎん健保総合グラウンドにおいて、第9回「いばぎん野球教室」を開催しました。当日は、少年野球チームのメンバー約80名が参加し、当行野球部員の指導のもと基本練習を行いました。



## ■献血に協力

毎年、本部職員による献血を実施しております。各支店においても、地域の献血活動に協力しております。



## ■地域行事への参加

新入行員の研修時や、本店行員による朝の清掃ボランティアとして、本店周辺の清掃活動を行っております。また、支店においては、地域の清掃活動に参加するなど、身近な清掃ボランティアへの参加を心がけております。



## IBAGIN TOPICS

### ■個人年金保険商品の充実

お客様の多様なニーズにお応えするため、平成18年度下期に下記4商品の取扱いを開始いたしました。

- 変額個人年金保険「未来航路Two」
- 変額個人年金保険「投資型年金D・A・プラスf4」
- 変額個人年金保険「たのしみVAプラス」
- 定額個人年金保険「スリースターズプラスW」



### ■スーパー定期キャンペーン「ニッコリ定期プレミアム」の実施

前年度お客様よりご好評をいただいた“お預け入れ日前日の最高気温で上乗せ金利が決まる！”「ニッコリ定期プレミアム」を平成18年12月から平成19年2月まで取扱いました。

当商品は、新聞各社などのメディアにおいて、たびたび取上げられ、注目されたキャンペーンとなりました。



### ■退職金専用定期預金「ロイヤルシート」の発売

平成19年2月1日より、「退職金を上手に運用したい」というお客様のニーズにお応えし、特別金利を適用する退職金専用定期預金「ロイヤルシート」を発売いたしました。



### ■第1回いばぎんビジネス交流会の開催

平成19年2月21日に、第1回「いばぎんビジネス交流会」を開催し、60社を超える企業の参加をいただきました。



## ■資産運用セミナーの開催

平成 19 年 3 月 4 日、水戸京成ホテルにおいて、「三井住友海上メットライフ」の講師を招いて「資産運用セミナー」を開催いたしました。



## ■投資信託商品の充実

お客様の金利選好にお応えできるよう、平成 18 年度下期は以下の 2 商品を追加いたしました。

- 「DIAM 高格付インカム・オープン (愛称:ハッピークローバー)」
- 「海外国債ファンド」



## ■外貨宅配サービスの取扱変更



平成 19 年 1 月 29 日から、三井住友銀行との提携による外貨宅配サービスの取扱を変更しました。直接お客さまがお申込みいただけるほか、お届け希望日・時間帯の指定ならびに最低 1 パックからのお申込みが可能になりました。また、当サービスご利用のお使い残し分について、「買取手続き」が追加されました。

## ■「事業再生ファンド」の創設

取引先企業の事業再生手法の高度化、多様化につなげるため、(株)あおぞら銀行、あおぞら債権回収(株)と連携し、事業再生ファンドを平成 19 年 3 月に創設いたしました。本ファンドにおいて、取引先中小企業に対し、事業・財務両面から再生支援を行ってまいります。

## ■個人向けフリーローン「セレクトプラス」の取扱開始

個人向け無担保ローンの商品充実のため、平成 19 年 2 月 1 日より、お使いみちが自由で、無担保で最高 99 万円までご融資可能な「セレクトプラス」の取扱いを開始いたしました。



## ■楽天(株)との業務提携

ビジネスマッチング推進の一環として、インターネットショッピングモール「楽天市場」への出店企業候補紹介業務を平成 19 年 4 月 2 日から開始いたしました。



役員

(平成 19 年 3 月 31 日)

取 締 役 頭 取	川 嶋		烈
専 務 取 締 役	中 島	昭	義
専 務 取 締 役	溝 田	泰	夫
常 務 取 締 役	伊 藤	裕	史
常 務 取 締 役	中 澤	民	雄
取 締 役	豊 崎		寛
取 締 役	立 原	和	則
取 締 役	植 木		誠
常 勤 監 査 役	杉 山		誠
監 査 役	長 山	頼	興
監 査 役	林	博	義

## 資本金・株式の状況

(平成 19 年 3 月 31 日現在)

### 【資本金の推移】

	19 年 3 月末	18 年 3 月末
資本金	15,541 百万円	15,541 百万円

注. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 【株式の状況】

(1) 株式数 発行する株式の総数 200,000 千株  
発行済株式の総数 141,710 千株

注. 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

(2) 当年度末株主数 6,980 名

(3) 大株主

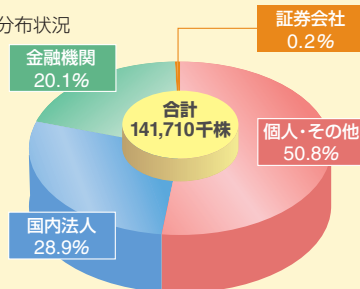
発行済株式（自己株式を除く。）の総数の 10 分の 1 以上の数の株式を有する株主は、該当ありません。

株主の氏名又は名称	当行への出資状況	
	持株数等	持株比率
日本トラスティサービス信託銀行(株)(信託口4)	5,350	3.77
(株) みずほコーポレート銀行	4,755	3.35
大内 克之	3,976	2.80
茨城銀行従業員持株会	3,510	2.47
(株) 三井住友銀行	3,011	2.12
ニッセイ同和損害保険(株)	2,916	2.05
豊崎 寛	2,556	1.80
佐川 清一	2,536	1.78
茨城いすゞ自動車(株)	2,073	1.46
(株) 常陽銀行	2,042	1.44

注1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

2. 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

(4) 所有者別分布状況



## 株式のご案内

事業年度

4 月 1 日から翌年 3 月 31 日

定時株主総会

毎年 6 月

定時株主総会の基準日

毎年 3 月 31 日

その他必要のあるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。

剰余金配当基準日

期末配当 3 月 31 日

中間配当 9 月 30 日

株主名簿管理人

〒 103 - 8202 東京都中央区日本橋茅場町一丁目 2 番 4 号  
日本証券代行株式会社

同事務取扱場所

〒 103 - 8202 東京都中央区日本橋茅場町一丁目 2 番 4 号  
日本証券代行株式会社 本店

郵便物送付先・お問合せ先

〒 137 - 8650 東京都江東区塩浜二丁目 8 番 18 号

日本証券代行株式会社 代理人部

(住所変更等用紙のご請求) ☎0120-707-842

(その他のご照会) ☎0120-707-843

株式お手續用紙のご請求をインターネットでもお受け  
いたしております。

日本証券代行株式会社のホームページアドレス

<http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

(一部の用紙は、お手持のプリンターで印刷できます。)

同取次所

日本証券代行株式会社 支店 (全国各支店)

なお、単元未満株式の買取り・買増しは、上記株主名簿管理人が取扱っております。

公告方法

電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、水戸市において発行する「茨城新聞」に掲載して行います。

# 店舗網のご案内

(当行のATMは、一部店舗を除き365日稼働しております。)

(平成19年6月28日現在)

茨城県		名称/住所	電話番号	ATM 営業時間	
				平日 土・日・祝日	
水戸市	●本店営業部	水戸市南町 1-3-1	029(231)3171	8:00~21:00 9:00~17:00	
	●大工町支店	水戸市大工町 3-6-6	029(231)4225	8:45~19:00 9:00~17:00	
	●水戸駅南支店	水戸市城南 1-3-31	029(222)0011	8:45~19:00 9:00~17:00	
	●見和支店	水戸市見川 2-50-33	029(226)3211	8:45~19:00 9:00~17:00	
	●渡里支店	水戸市堀町 962-1	029(225)6151	8:45~19:00 9:00~17:00	
	●平須支店	水戸市平須町 1828-210	029(243)4181	8:45~19:00 9:00~17:00	
	●吉田支店	水戸市元吉田町 1479-3	029(248)1511	8:45~19:00 9:00~17:00	
	●赤塚支店	水戸市河和田 1-1812-6	029(255)1511	8:45~19:00 9:00~17:00	
	石岡市	●石岡支店	石岡市府中 1-3-3-101	0299(22)5141	8:45~19:00 9:00~17:00
		●稲敷市	稲敷市江戸崎甲 2720	029(892)2531	8:45~19:00 9:00~17:00
稲敷市	●新利根支店	稲敷市柴崎 5571-1	0297(87)3553	8:45~19:00 9:00~17:00	
	●牛久市	牛久市中央 3-17-4	029(873)3133	8:00~20:00 9:00~17:00	
笠間市	●笠間支店	笠間市笠間 1178-1	0296(72)1233	8:45~19:00 9:00~17:00	
	●友部支店	笠間市美原 1-1-1	0296(77)7971	8:45~19:00 9:00~17:00	
鹿嶋市	●鹿嶋支店	鹿嶋市宮中 7-10-23	0299(82)2431	8:45~19:00 9:00~17:00	
	●神栖市	神栖市木崎 2842-2	0299(93)0971	8:45~19:00 9:00~17:00	
古河市	●波崎支店	神栖市波崎 7682-5	0479(44)8021	8:45~19:00 9:00~17:00	
	●古河支店	古河市本町 1-3-19	0280(32)4611	8:45~19:00 9:00~17:00	
古河市	●総和支店	古河市上辺見 2793	0280(32)0055	8:45~19:00 9:00~17:00	
	桜川市	●真壁支店	桜川市真壁町飯塚 997-1	0296(55)1155	8:45~19:00 9:00~17:00
●大和支店		桜川市阿部田 216-59	0296(58)7113	8:45~19:00 9:00~17:00	
高萩市	●高萩支店	高萩市東本町 2-32	0293(22)2028	8:45~19:00 9:00~17:00	
	●筑西市	筑西市甲 930-4	0296(22)5246	8:45~19:00 9:00~17:00	
●つくば市	●研究学園都市支店	つくば市松代 1-9-7	029(855)6921	8:45~19:00 9:00~17:00	
●つくばみらい市	●伊奈支店	つくばみらい市飯塚 2259-1	0297(57)0100	8:45~19:00 9:00~17:00	
土浦市	●土浦支店	土浦市大町 5-5	029(822)5117	8:45~19:00 9:00~17:00	
	●神立支店	土浦市神立町 14-9	029(832)1223	8:00~20:00 9:00~17:00	
●取手市	●取手支店	取手市白山 6-24-5	0297(74)1171	8:45~19:00 9:00~17:00	
●那珂市	●菅谷支店	那珂市菅谷 2362-1	029(295)1211	8:45~19:00 9:00~17:00	
●行方市	●麻生支店	行方市麻生 171-8	0299(72)0781	8:45~19:00 9:00~17:00	
●坂東市	●岩井支店	坂東市岩井 2938-1	0297(35)9341	8:45~19:00 9:00~17:00	
日立市	●日立支店	日立市神崎町 1-10-6	0294(22)6111	8:45~19:00 9:00~17:00	
	●多賀支店	日立市千石町 1-4-18	0294(36)1161	8:45~19:00 9:00~17:00	
●日立市	●大みか支店	日立市大みか町 2-22-26	0294(53)1066	8:45~19:00 9:00~17:00	
●常陸太田市	●太田支店	常陸太田市東一町 2301-2	0294(72)2231	8:45~19:00 9:00~17:00	
●常陸大宮市	●大宮支店	常陸大宮市中富町 1005-1	0295(52)3171	8:45~19:00 9:00~17:00	
ひたちなか市	●勝田支店	ひたちなか市元町 3-8	029(273)9111	8:00~20:00 9:00~17:00	
	●佐和支店	ひたちなか市高野 600-1	029(285)2121	8:45~19:00 9:00~17:00	
●ひたちなか支店	ひたちなか市中根 890-3	029(276)2503	8:45~19:00 9:00~17:00		
鉾田市	●鉾田支店	鉾田市鉾田 1569-13	0291(33)3131	8:45~19:00 9:00~17:00	
	●造谷支店	鉾田市玉田 1046-103	0291(37)3225	8:45~19:00 9:00~17:00	
●守谷市	●守谷支店	守谷市けやき台 1-25-1	0297(48)4651	8:45~19:00 9:00~17:00	

茨城県		名称/住所	電話番号	ATM 営業時間
				平日 土・日・祝日
結城市	●結城支店	結城市結城 13619	0296(33)0881	8:45~19:00 9:00~17:00
	龍ヶ崎市	●竜ヶ崎支店	龍ヶ崎市米町 4020-3	0297(62)1234
●佐貫支店		龍ヶ崎市佐貫町 555-1	0297(66)5331	8:45~19:00 9:00~17:00
稲敷市	●荒川沖支店	阿見町住吉 2-14-7	029(842)9771	8:00~20:00 9:00~17:00
	●美浦支店	美浦村大谷 486-1	029(885)5560	8:45~19:00 9:00~17:00
●久慈市	●大子支店	大子町大子 755-6	0295(72)1151	8:45~19:00 9:00~17:00
●猿島市	●境支店	境町 78-11	0280(87)5555	8:45~19:00 9:00~17:00
●那珂郡	●東海支店	東海村舟石川 762-1	029(284)0081	8:45~19:00 9:00~17:00
東茨城郡	●大洗支店	大洗町霞道 178	029(267)0111	8:45~19:00 9:00~17:00
	●常北支店	城里町石塚 2301-7	029(288)7555	8:45~19:00 9:00~17:00

千葉県		名称/住所	電話番号	ATM 営業時間
				平日 土・日・祝日
旭市	●旭支店	旭市口の 965-6	0479(62)1115	8:45~18:00 -
	●柏市	●北柏支店	柏市根戸 483-177	04(7132)3831
●銚子市	●銚子支店	銚子市双葉町 6-20	0479(22)8633	8:45~18:00 -
●松戸市	●小金支店	松戸市小金まよしヶ丘 3-12-13	047(342)1191	8:45~18:00 -

栃木県		名称/住所	電話番号	ATM 営業時間
				平日 土・日・祝日
●宇都宮市	●宇都宮支店	宇都宮市一番町 1-31	028(633)1361	8:45~19:00 9:00~17:00
●小山市	●小山支店	小山市駅前町 4-13-25	0285(28)7011	8:45~19:00 9:00~17:00
●鹿沼市	●鹿沼支店	鹿沼市銀座 1-1878-5	0289(62)4163	8:45~18:00 -

東京都		名称/住所	電話番号	ATM 営業時間
				平日 土・日・祝日
●足立区	●綾瀬支店	足立区綾瀬 4-16-8	03(3620)3191	8:45~18:00 9:00~17:00

ローンセンター		名称/住所	電話番号	ATM 営業時間
				平日 土・日・祝日
水戸市	●ローンセンター水戸	水戸市南町 1-3-29	029(233)2951	9:00~17:00 9:00~17:00 ◎
	●ローンセンター牛久市	牛久市中央 3-17-4 (牛久支店内)	029(873)7548	9:00~17:00 9:00~16:30 ◎
神栖市	●ローンセンター神栖	神栖市木崎 2842-2 (神栖支店内)	0299(93)1480	9:00~17:00 9:00~16:30 ◎
	●つくば市	●ローンセンターつくば	つくば市松代 1-9-7 (研究学園都市支店内)	029(855)8184
●守谷市	●ローンセンター守谷	守谷市けやき台 1-25-1 (守谷支店内)	0297(46)3331	9:00~17:00 9:00~16:30 ◎
●龍ヶ崎市	●ローンセンター龍ヶ崎	龍ヶ崎市佐貫町 555-1 (佐貫支店内)	0297(65)2148	9:00~17:00 9:00~16:30 ◎
●那珂郡	●ローンセンター那珂	東海村舟石川 762-1 (東海支店内)	029(284)0660	9:00~17:00 9:00~16:30 ◎

※○印は日曜日のみの営業  
◎印は土曜日のみの営業となります。

# 店舗外キャッシュコーナーのご案内

(平成 19 年 6 月 28 日現在)

茨城県		設置場所	平日	土・日・祝日	
水戸市		西原出張所	8:45~19:00	9:00~17:00	
		アンゼン水戸店	8:45~18:00	9:00~17:00	
		水戸京成パーキングプラザ	9:00~19:00	9:00~17:00	
		下市ジャスコ	10:00~19:00	10:00~17:00	
		コープフレール水戸	10:00~19:00	10:00~17:00	
		茨城県庁	9:00~18:00	—	
		水戸駅ビル	8:00~21:00	9:00~17:00	
		山新グランステーション水戸	9:00~19:00	9:00~17:00	
	石岡市		カスミ石岡若松店	9:30~19:00	9:30~17:00
			石岡ショッピングセンターぱれっと	9:00~19:00	9:00~17:00
		八郷総合支所	9:00~18:00	<u>9:00~17:00</u>	
潮来市		潮来ホームジョイ本店	9:00~19:00	9:00~17:00	
		潮来アイモア	10:00~19:00	10:00~17:00	
稲敷市		江戸崎ショッピングセンターパンプ	10:00~19:00	10:00~17:00	
		しんとね COM	10:00~19:00	10:00~17:00	
牛久市		牛久愛和総合病院	8:45~18:00	<u>9:00~17:00</u>	
		エスカード牛久	10:00~19:00	10:00~17:00	
笠間市		岩間支所	9:00~18:00	—	
		笠間市役所	9:00~18:00	—	
		伊勢甚友部スクエア	10:00~19:00	10:00~17:00	
		笠間ショッピングセンターポレボレ	9:00~19:00	9:00~17:00	
がまがら市		千代田ショッピングプラザ	9:00~19:00	9:00~17:00	
鹿嶋市		鹿嶋チェリオ	10:00~19:00	10:00~17:00	
		いせやショッピングセンター神酒店	10:00~19:00	10:00~17:00	
古河市		古河市役所	8:45~18:00	—	
		古河イトーヨーカ堂	9:30~19:00	9:30~17:00	
常総市		石下庁舎	9:00~18:00	<u>9:00~17:00</u>	
高萩市		高萩サティ	9:00~19:00	9:00~17:00	
筑西市		日立化成工業下館工場	9:00~18:00	—	
つくば市		つくばショッピングセンターアッセ	10:00~19:00	10:00~17:00	
		クレオスクエア	10:00~20:00	10:00~17:00	
土浦市		土浦ピアタウン	9:30~19:00	9:30~17:00	
		土浦イトーヨーカ堂	9:30~21:00	9:30~17:00	
		新治さん・あびお	9:30~19:00	9:30~17:00	

茨城県		設置場所	平日	土・日・祝日
取手市		取手駅西口	8:45~18:00	<u>9:00~17:00</u>
那珂市		那珂町ジャスコ	9:00~19:00	9:00~17:00
		麻生庁舎	9:00~18:00	—
日立市		日立市役所十王支所	8:45~18:00	<u>9:00~17:00</u>
		日立イトーヨーカ堂	9:00~20:00	9:00~17:00
常陸大宮市		常陸大宮ショッピングセンターピサー口	10:00~19:00	10:00~17:00
ひたちなか市		勝田ジャスコ	10:00~19:00	10:00~17:00
		那珂湊セイブ	10:00~19:00	10:00~17:00
		那珂湊総合支所	9:00~18:00	<u>9:00~17:00</u>
		勝田長崎屋	10:00~19:00	10:00~17:00
		ひたちなかジョイフル本店	9:00~19:00	9:00~17:00
		湊出張所	8:45~19:00	9:00~17:00
鉾田市		鉾田市役所	9:00~18:00	<u>9:00~17:00</u>
守谷市		ロックシティ守谷	10:00~21:00	10:00~19:00
龍ヶ崎市		佐貫カスミ	8:45~18:00	9:00~17:00
		龍ヶ崎市役所	9:00~18:00	<u>9:00~17:00</u>
		龍ヶ崎ショッピングセンターリブラ	9:00~19:00	9:00~17:00
		北電台ショッピングセンターサプラ	9:00~19:00	9:00~17:00
稲敷郡		阿見ショッピングセンター	9:30~19:00	9:30~17:00
		医療大学附属病院	9:00~18:00	<u>9:00~17:00</u>
		美浦村役場	9:00~18:00	—
久慈郡		大子町役場	9:00~18:00	<u>9:00~17:00</u>
猿島郡		境ティープレイス	10:00~19:00	10:00~17:00
		境ショッピングモールフィズ	10:00~19:00	10:00~17:00
那珂郡		東海ジャスコ	10:00~19:00	10:00~17:00
		東海村役場	9:00~18:00	<u>9:00~17:00</u>
		茨城東病院	8:45~18:00	—
東茨城郡		茨城町役場	9:00~18:00	<u>9:00~17:00</u>

※土・日・祝日欄の時刻に下線\_がある設置場所は土曜日のみ稼働となります。

 = I-NET 共同出張所



〒310-0021 水戸市南町1丁目3番1号  
TEL.029-231-3171 FAX.029-231-3144  
URL <http://www.ibagin.co.jp/>